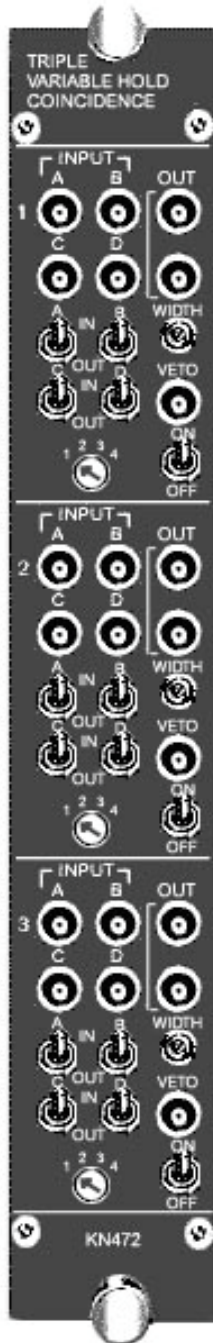


TRIPLE VARIABLE-HOLD COINCIDENCE (Majority Logic)



《概要》

◆極めて高い測定精度が要求される原子核物理学実験や素粒子物理学実験などに使用されるモジュールです。

◆入、出力信号はAEC(米国原子力委員会)のNIM規格に統一されています。

《仕様》

入力

- ◇A、B、C、D：各1x3ch/IN・OUTホールドスイッチ付
- ◇インピーダンス：50Ω/DC結合
- ◇電圧：NIM信号レベル
- ◇ホールドは各入力カトグルスイッチ
- ◇VETO IN：各1x3ch
- ◇インピーダンス：50Ω/DC結合・NIM信号レベル(約-450mVの入力信号で全ての入力を禁止します。)
- ON/OFFスイッチ付

出力

- ◇バリアブルホールド出力：2/ch・NIM信号(各チャンネルごとにパルス幅調整可能)
- ◇パルス幅：5nS~70nS
- ◇設定：半固定ディップロータリSWにより選択
- ◇範囲：1~4

◆入出力のコネクタは標準のレモコネクタを使用しております。

◆ケース幅はNIM規格の1幅です。

◆消費電流 -6V：約1.3A



株式会社 カイズワークス

〒190-1222 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原9-18

Tel：042-568-0866

Fax：042-568-0867

E-mail kaizuwks@kaizuwks.co.jp Homepage <http://www.kaizuwks.co.jp>